



川の水面と、底の水は同じ速さなの

水面のほうが速い

川の水が流れる速さは、川底のかたむきが大きいほど速く、同じ川でも場所によってちがいます。ふつう、水が流れる速さは、上流では速く、下流ではおそくなっています。また、川底のかたむきが同じときは、水の深さが深いほうが、流れが速くなっています。

同じ場所の川の水面と底では、水面のほうが、水の流れが速くなっています。しかし、よく調べてみると、水面よりも、水面の少し下の、深さが10分の1～10分の4ぐらいの所のほうが、水の流れが速くなっています。

流れの平均の速さは、深さが水面から10分の6ぐらいの所です。流れの平均の速さを調べるときは、水面から10分の6ぐらいの深さの、流れの速さをはかります。

同じ場所でも、流れる所のちがいで、速さがちがう

まっすぐに流れている川では、川の両岸の流れはおそく、真ん中が速くなっています。また、川が曲がって流れている所では、曲がり角の内側では流れがおそく、外側では速くなっていることが多いのです。しかし、外側が深い淵になっていると、外側のほうもおそくなることがあります。（監修・国司 真）

川の水の速さのちがい

